

学校教育診断アンケートの回答に

ご協力いただきありがとうございました。



(裏面:学校教育診断アンケートの集計です。ご覧ください。)

全校児童の保護者の皆様を対象に、学校評価アンケートを実施いたしました。ご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。本年度は、学校評価保護者用アンケートをスマートフォン、PCから回答いただく方法としました。回答率は66%、402件のご回答いただきました。回答方法を変更したためなのか、回答率は昨年度を下回りましたが、おおむね肯定的なお答えをいただきました。

本年度も感染症対策として諸活動が縮小・中止されましたので、状況に合わせて評価項目の内容等を一部変更して実施しました。

自由記述(50件)では心温まるお言葉を多数お寄せいただきました。本校の日々の取り組みを認めていただけることは、大きな励みになります。教職員一同、感謝の思いを新たにしたいところでございます。

また、「タブレットの活用方法」等、貴重なご意見・ご要望をいただきました。いただいたご意見については、真摯に受け止め、今後の指導に活かしていきます。

結果につきましては、全職員で共有し、学校全体、学年や分掌等、多様な角度からの考察を行いました。学校運営や指導の在り方等、今後も保護者の皆さまとの連携を密にし、お子さまの健やかな成長のため、教職員一同、力を尽くしてまいります。お気づきの点やご意見等がございましたら、いつでも遠慮なくお知らせください。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

連絡アプリの導入について



学校とご家庭の連絡システムについては、新しく「コドモン」の登録を進めています。メールで欠席連絡やお便り等に関して、添付して送ることができます。来年度からの実施となります。

「学び合う力の育成」～子どもがつながる授業づくり～

「よく考え、表現し、自ら意欲的に学ぶ子ども」「仲間としてつながり高め合う子ども」を育成するために、児童の自己肯定感を高めるための手立てや工夫を考えることを研究の中心に置き、児童が豊かに表現しながら学び合うための具体的な指導をすすめています。また、本校の児童の実態を国の学力調査の結果や大阪府すくすくテストの結果や児童の様子での課題を考え、これからの授業の在り方についても検討しました。学力調査を全体的に考察していくと、多くの児童について、一定程度満足できる結果になっており、知識が豊富で高い学力を有しているといえます。しかし、さらに分析していくと、複数のことを比較したり、関連付けたりする力、さまざまな情報を目的に応じて読み取り、まとめ、適切に表現する力、既習の知識をつなげて活用する力が本校の児童の課題であるということがみえてきました。

- 1、さまざまな知識や技能などを結び付け、その繰り返しをこれから身に付けるべき子どもの資質・能力を育成していく「深い学び」につなげていく。
- 2、はじめにあげた知識や技能を1つの教科等で結び付けるだけでなく、教科等横断的に捉え、さまざまな知識や技能などを結び付けることができるカリキュラム・マネジメントを行い、各教科等を関連付けながら授業改善を図っていく。

教職員が教科等横断的に「思考スキル」や「知識・技能等」のつながりを意識して授業改善を図っていくことで子どもたちに付けたい力につなげていきたいと考えています。

小中一貫教育の取り組みについて



第八中学校区教育目標「夢を持ち 心豊かに ともに未来を切り拓く」

平成28年度(2015年度)より教育活動の一部を一貫させた「小中一貫教育」に取り組んでいます。目的は「義務教育の9年間でどんな力をつけるのか」「15才までにどんな子どもを育てるのか」ということを子どもの現状をふまえ、第八中学校校区(第八中学校 東丘小学校 北丘小学校)の教職員が一緒になって考えることが始まりです。発達段階に応じた学習指導や生活指導を行いながら、子どもの豊かな学びと豊かな心、そして健やかな体を育てていくことをめざしています。

第八中学校校区小中一貫教育の例として

- ① 第八中学校の先生が兼務発令を受け、小学校でのTT授業に取り組んでいます。(2021年度 4年生:理科、5年生:体育、6年生:英語)
- ② 学校行事等での小中の交流
- ④ 合同研修(教職員)

※小・中学校の教員同士が互いの授業を参観し、授業の進め方の違いを認識するとともにその特色を理解し、指導の内容と方法に系統性と継続性をもたせることに努めています。

★「キャリアパスポート」について★

新学習指導要領では、小学校から中学校、高等学校にかけて児童・生徒の発達段階を踏まえたキャリア教育の推進が新たに求められるようになりました。小学校から高等学校にかけて12年間の記録を引き継ぐために、「キャリアパスポート」を作成します。「キャリアパスポート」とは、自らの変容や成長を自己評価できるようにしたポートフォリオです。本校の「キャリアパスポート」は、各学期の学習や生活のめあて、その振り返りを記入したカードをファイルし、中身を少しずつ増やしていきます。一人ひとりの学習や生活のようすを「足あと」のように振り返ることができる記録です。例えば、「1年生のとき外で遊ぶのが大好きで、3年生ではなわとび名人になったよ。だから6年生では、みんなに運動の楽しさを教えられようになりたいな」というように、振り返りだけでなく、目標や見通しをもつこともできます。「キャリアパスポート」を使って、自分をみつめ、学級や学年等みんなのための活動を考えることを「めあて」として取り組んでいます。卒業時には進学する中学校へ渡し、そこでさらに中身を増やします。中学校卒業時には進学する高等学校へ引き継がれますので、高等学校卒業時には12年間分の記録が残ることになります。子どもたちがカードをファイルするたびにこれまでの自分の足跡を振り返り、自身の変容や成長を自己評価することで、キャリア教育の充実を図ってまいります。

いじめ及び体罰等の未然防止・早期発見・早期対応について

本校では、以下のような方針のもと、いじめに対して取組を進めています。毎学期、「生活アンケート」「いじめアンケート」を行い、児童と学級担任と面談をしています。「子どもたちの気持ち」をしっかりと聞き、子どもたちの気持ちに寄り添えるよう、私たち教職員もアンテナを高くしながら、一人ひとりの人権を守る・いじめは絶対にいけないことを指導しています。今後も引き続き全職員で子どもたちが安心して学校に通えるよう、いじめの未然防止に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- ① いじめかどうかの判断は教職員が個人で行うべきではなく、組織的に行うことが大切である。ささいな兆候や児童等からの訴えを個人が抱え込まずに、教職員間で共有して対応していくこと。
- ② 「いじめ等でいやな思いをしている場合には、誰かにそのことを訴えてほしい。」(いじめられた側をしっかり守る)と子ども達に、繰り返し伝えること。
- ③ いじめを止めさせることができなくても、決して傍観者にならず、教職員や保護者等の大人に報告するなど、いじめをなくすための行動をとれる子どもに育てること。
- ④ いじめは「人格を傷つける行為であること」「決して許されるものでないこと」を理解し、いじめに向かわせない力を子どもたちに育てていく。

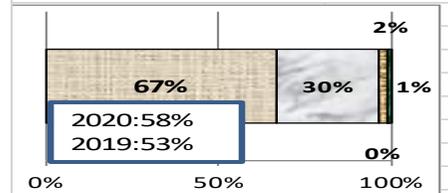
また、教職員による体罰や不適切な指導についても、その根絶に向けて、未然防止・早期発見・早期対応に努めてまいりますので併せてご協力をよろしくお願いいたします。※いじめの定義:「いじめ防止対策推進法(平成25年)」より

児童等に対して、当該児童が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的または物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象児童等が心身の苦痛を感じているもの

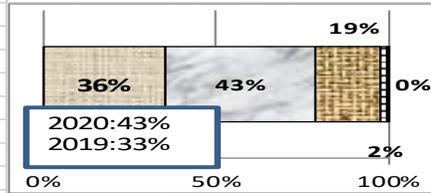
ご協力ありがとうございました。(学校教育自己診断) 2021年12月実施 全児童 614人 回答402件 回収率66% □内は昨年度の結果です。

〔保護者アンケート(全学年)〕

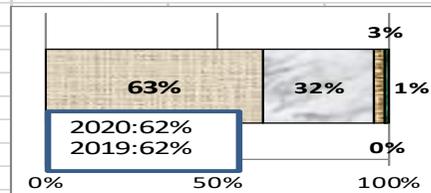
1. 学校で友だちと一緒に過ごしたり学んだりすることを楽しい感じている。



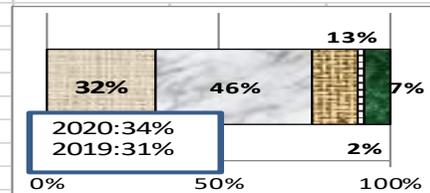
2. 学校での様子をよく話す。



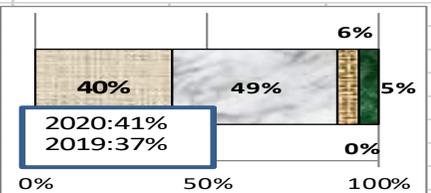
3. 運動会や学習発表会などの学校行事にむけて意欲的に取り組んでいる。



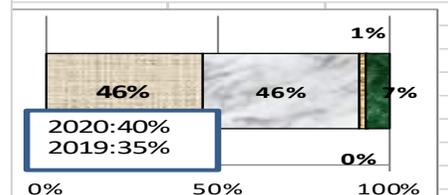
4. 授業では、考えを持ちたり伝えたりすることにする取り組んでいる。



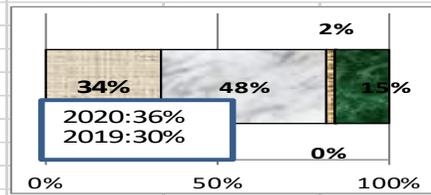
5. 学校は、お子様のことについて、相談しやすい。



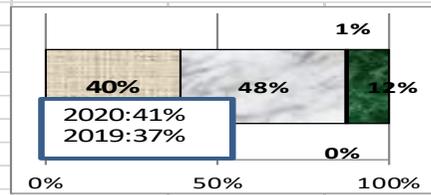
6. 学校は、社会のルールを守る態度を育てようとしている。



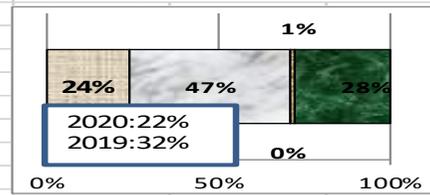
7. 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。



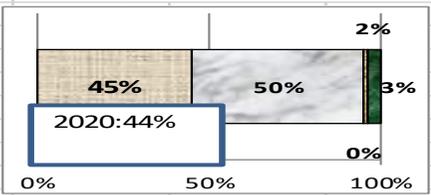
8. 学校は、命の大切さや人権を尊重する態度を育てようとしている。



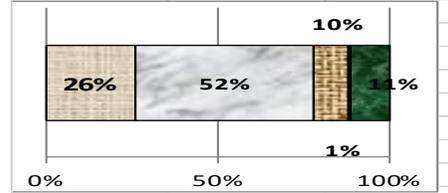
9. 学校は、第八中学校と連携した教育に取り組んでいる。



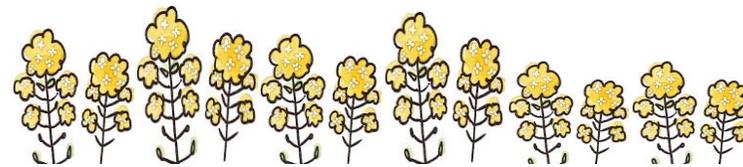
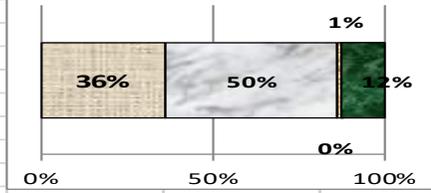
10. 学校は、感染症予防に配慮した教育活動に取り組んでいる。



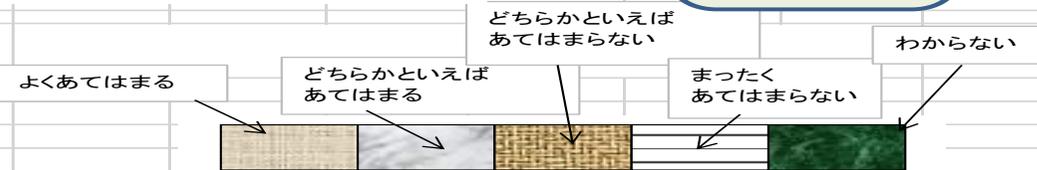
11. 学校はICT等を使った学習をすすめようとしている。



12. 学校は、子どもの評価を適切、公平に行っている。



凡例



問1:多くの皆様に「あてはまる」「ややあてはまる」という回答をいただきました。今後も「あまりあてはまらない」の回答が0に近づくよう努力していきます。

問2・5:子どもたちを全教職員で見守っています。豊中市教育委員会からのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門の方にも連携しています。お子様のことでご心配や相談ごとがありましたら、いつでもご連絡ください。

問3:今年度も工夫しながら行いました。学校行事をやりきることで子どもたちは、より成長していきます。今後も授業時間の確保や子どもたちの負担も考慮しながら計画していきます。

問4:「学び合う力の育成～子どもが主体的に学び、つながる授業づくり～」を研究テーマとし、算数を中心に論理的に考える力を伸ばす授業研究を進めています。今後も授業改善に向けて努力していきます。

問6・7・8:全ての教育活動を通じての育成を図っています。ご家庭や地域の皆様とも協力して、引き続き丁寧に取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

問9:八中校区の未来を担う子どもたちの成長を願い小中学校の教職員の持つ専門性やきめ細やかな指導等互いのよさを生かした指導を通して「学びの連続性」を図っていきます。

問10:「手洗い」「マスクの着用」「換気」等を徹底し、感染症の拡大防止に向けて努めてまいります。

問11:タブレットを活用しての授業は全学年で行っています。さらに研鑽を積み個々のスキルアップに努めてまいります。情報モラルについては、1年生から系統立ててしっかり指導していく必要があると思います。

問12:「わからない」という回答も多く、保護者の皆さまと、より丁寧にお子さまの様子を共有していけるよう努めてまいります。

※「わからない」という回答が多い問もありました。学校のさまざまな取り組みが理解していただけるよう、よりいっそう情報発信に努めてまいります。